

## 平成29年度第1回和歌山県後期高齢者医療制度懇話会 概要

1. 開催日時 平成30年1月16日(火) 午後1時30分から

2. 開催場所 日赤会館 1階 102会議室

3. 出欠状況 【出席委員】

谷口 拓司	会長	赤阪 修一	副会長
中尾 純和	委員	岡 広子	委員
江見 啓志	委員	江口 暢洋	委員
美濃部 正	委員	山崎 希恵	委員
廣畑 康雄	委員		

【欠席委員】

上林 雄史郎 委員

【事務局出席者】

事務局長	沖 重樹		
総務課長	堀畑 明秀	業務課長	岡 真次
財政班長	畑野 隆	総務班長	山中 秀幸
健康推進班長	柴田 一人	給付適正化班長	宇津 績
資格保険料班長	森井 信行		

4. 次第
- 開会
  - 事務局長挨拶
  - 委員紹介
  - 会長選出
  - 副会長選出
  - 会議
    - ①後期高齢者医療制度の運営状況について
    - ②平成30年度・平成31年度新保険料率(案)について
    - ③保健事業について
    - ④第2期データヘルス計画(案)について
    - ⑤その他
  - 閉会

5. 概要 (会議内容)

### ①後期高齢者医療制度の運営状況について

事務局から、平成 28 年度の決算の状況、医療給付等の状況、入札契約の状況について説明を行いました。

(委員)

特にありません。

### ②平成 30 年度・平成 31 年度新保険料率（案）について

事務局から、平成 30・31 年度の保険料率改定について、保険料率等の計算方法、療養給付費等の状況、保険料率試算結果等について説明をしました。

(委員)

医療サービスの内容や質が低下したりしないように保険料を決めているのですか。保険料が高くなることにより、どの様なサービスをしていただけるのですか。

(事務局)

後期高齢者医療制度の安定した運営及び制度見直しを考慮して積算したところ、今回の保険料率となりました。また、保健事業における健康診査の自己負担金を平成 29 年度から無料にして、被保険者の方に受診していただきやすいように実施しています。

### ③保健事業について

事務局から、広域連合が実施している保健事業で、「健康診査」、「歯科健康診査」「ドック健診事業補助金」、「重複及び頻回受診者等訪問事業」、「後発医薬品差額通知」の 5 つの保健事業について、実施状況、課題、今後の取組等を説明しました。

健康診査については、平成 29 年度から自己負担金の無料化を実施、2 町村で集団健診を実施していることについて説明しました。歯科健康診査事業については、平成 28 年度からの新規事業として実施していますが、現在のところ受診率が低いという現状を説明しました。ドック健診事業補助金については、補助金額が年々増加している状況が続いていることから、今後、補助金の内容や補助金算定方法の見直しを検討していくことを説明しました。

続いて、重複及び頻回受診者等訪問指導事業については、事業委託市町村が少ないことから事業の拡大が難しく、今後業者委託も視野に入れて検討することを説明しました。

(委員)

当町で集団健診を実施するには、保健師等スタッフが少ないため、実施するのは難しい状況ではありますが、今年度、集団健診を実施した町村の受診状況はどうか。

また、来年度、新たに集団健診を実施する市町村はどのようになっていますか。

**(事務局)**

まだ、集団健診が全て終了していないので、受診状況については把握できていません。昨年、健康診査を受診されていない方で、今回新たに集団健診を受診された方は多いようであります。

来年度、新規に集団健診実施の承諾をいただいている町村は5町村であります。

また、現在、集団健診の実施に向けて検討していただいているところもございます。

**(委員)**

75歳になり後期高齢者となったが、国民健康保険のときは、今まで集団健診の案内が届いていましたが、後期高齢者となってから届かなくなったのはどうしてですか。

**(事務局)**

集団健診につきましては、各市町村に委託して実施しておりますが、各市町村の事情により実施が難しいところがあります。今年度は2町村が実施しており、来年度は5町村で実施の承諾をいただいております。

集団健診につきましては、各市町村に対して、実施に向けての説明等を行っている状況でございます。

**④第2期データヘルス計画（案）について**

事務局から、策定に至った経緯、計画書の目的、計画期間、今後の保健事業等の内容について説明をしました。

**(委員)**

糖尿病性腎症の予防は若いうちから予防していかないといけないと思います。後期高齢者の方は、人工透析患者が約1,600人おられ、新規該当者は年間約300人ありますが、保健事業についてはどのようにお考えですか。

**(事務局)**

いろいろな保健事業をしてきたいのですが、職員が少ないのでなかなかできない状況であります。また、限られた財源の中で、どの保健事業を優先していくのか検討していきたいと考えています。

**(委員)**

歯科についてお聞きしたいのですが、80歳で20本についてお聞かせ願いますか。

**(委員)**

「8020」の基準ですが、自分の歯が20本以上あれば普通の食事ができます。20本より少なくなったら噛む効率が下がるので、しっかり噛んで食べられません。そうすると全身的に衰えてきます。自分で気づかないうちに普通のことが徐々にできなくなる。歯が20本あると進行を遅らせることができます。「8020」の達成率は50%を超えていますので、もっと増やしてもっと長生きしてもらいたいと思います。

**(委員)**

薬局に後発医薬品の差額通知書が届いたと持ってこられる方がおられますので、できれば後発医薬品の差額通知を、もう少し送付していただければ啓発に良いかと思えます。

**(事務局)**

できるだけ国の基準の数量シェアの80%に近付けるように取り組んでいきたいと考えています。

**④その他**

事務局からは特に案件ありません

午後2時57分 閉会